



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,465	△2.0	192	△36.9	169	△45.3	112	△34.1
2019年3月期第1四半期	5,574	15.9	304	△6.5	309	△16.3	171	△0.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 81百万円 (△46.6%) 2019年3月期第1四半期 152百万円 (16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	34.09	—
2019年3月期第1四半期	51.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	27,850	12,870	36.8	3,089.02
2019年3月期	28,563	12,955	36.4	3,139.89

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 10,238百万円 2019年3月期 10,407百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,900	3.0	520	△5.1	440	△28.5	270	△14.7	81.46
通期	24,300	1.2	1,090	△15.2	910	△30.0	530	△27.8	159.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	3,362,163株	2019年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	47,768株	2019年3月期	47,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	3,314,411株	2019年3月期1Q	3,314,734株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもとで当社グループは『誇り』を合言葉に、『1. 社会に誇れる企業を目指して』、『2. 従業員一人ひとりが輝き誇れる企業に』、『3. 誇れる未来を創造するために』を柱とする第6次3カ年計画(2019年～2021年度)を新たにスタートさせ、国内事業および海外事業の基盤強化に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 54億6千5百万円(前年同期比 2.0%減)、営業利益 1億9千2百万円(前年同期比 36.9%減)、経常利益 1億6千9百万円(前年同期比 45.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1億1千2百万円(前年同期比 34.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 鋳物関連事業

鋳型は、厚板用鋳型の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカー向けおよび国内電炉メーカー向けの需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鋳物は、海外自動車メーカー向け案件の安定的受注により、売上高は、前年同期並みで推移しました。大型産業機械用鋳物は、大型工作機械、船舶用減速機向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。小型鋳物は、機械鋳物が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。デンスパーおよび天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、47億6百万円(前年同期比 3.9%減)、セグメント利益 2億2百万円(前年同期比 28.2%減)となりました。

## ② 環境関連事業

環境装置事業は、大型案件の工事が進捗したことにより、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、1億4千9百万円(前年同期比 14.0%増)、セグメント損失 4千3百万円(前年同四半期はセグメント損失 8百万円)となりました。

## ② その他の事業

送風機は、民間向け発電所用ボイラーをはじめ、民間設備投資が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、暑熱対策製品のACベストVCやマンクーリングシステムの受注に努め、売上高は、前年同期を上回りました。KCカーボンセラミックスは、ベアリング関連が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。KCメタルファイバーは、自動車摩擦材および産業用摩擦材の需要減により、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、6億9百万円(前年同期比 12.0%増)、セグメント利益 7千4百万円(前年同期比 36.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、159億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9千8百万円減少いたしました。これは、主として現金及び預金が7億4千6百万円、電子記録債権が1億4千8百万円増加した一方、環境関連事業大型案件の回収が進んだことなどにより受取手形及び売掛金が16億5千3百万円減少したことなどによります。

固定資産は、119億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千3百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、278億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1千2百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、101億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4千万円減少いたしました。これは、主として短期借入金が5億3千万円、支払手形及び買掛金が2億7千9百万円減少したことなどによります。

固定負債は、47億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億1千2百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が5億1千万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、149億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ6億2千8百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、128億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ8千4百万円減少いたしました。

この結果、総資産が減少したことにより、自己資本比率は、前連結会計年度末の36.4%から36.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,892	2,639
受取手形及び売掛金	9,076	7,422
電子記録債権	1,979	2,127
商品及び製品	1,129	1,208
仕掛品	1,244	1,259
原材料及び貯蔵品	826	900
その他	410	400
貸倒引当金	△56	△54
流動資産合計	16,502	15,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,916	3,006
機械装置及び運搬具(純額)	4,155	4,263
土地	1,220	1,220
その他(純額)	1,282	1,236
有形固定資産合計	9,574	9,726
無形固定資産		
	230	233
投資その他の資産		
投資有価証券	2,086	1,894
繰延税金資産	—	3
退職給付に係る資産	82	1
その他	86	86
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,255	1,986
固定資産合計	12,060	11,946
資産合計	28,563	27,850

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,377	4,097
短期借入金	4,040	3,509
未払法人税等	264	10
賞与引当金	300	118
その他	2,341	2,448
流動負債合計	11,325	10,184
固定負債		
長期借入金	3,908	4,419
繰延税金負債	175	179
未払役員退職慰労金	9	—
退職給付に係る負債	174	179
その他	14	17
固定負債合計	4,283	4,795
負債合計	15,608	14,980
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	7,277	7,224
自己株式	△55	△55
株主資本合計	9,826	9,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500	353
繰延ヘッジ損益	△5	△3
為替換算調整勘定	155	210
退職給付に係る調整累計額	△70	△96
その他の包括利益累計額合計	580	464
非支配株主持分	2,547	2,632
純資産合計	12,955	12,870
負債純資産合計	28,563	27,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,574	5,465
売上原価	4,571	4,582
売上総利益	1,002	883
販売費及び一般管理費	698	691
営業利益	304	192
営業外収益		
受取利息及び配当金	33	26
その他	28	5
営業外収益合計	61	32
営業外費用		
支払利息	39	37
その他	16	18
営業外費用合計	55	55
経常利益	309	169
特別利益		
投資有価証券売却益	—	33
特別利益合計	—	33
税金等調整前四半期純利益	309	203
法人税、住民税及び事業税	49	14
法人税等調整額	40	44
法人税等合計	90	59
四半期純利益	219	144
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	171	112



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	219	144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	△147
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△131	109
退職給付に係る調整額	4	△25
その他の包括利益合計	△66	△62
四半期包括利益	152	81
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169	△3
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	84

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,898	131	5,030	544	5,574	—	5,574
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	4	4	△4	—
計	4,898	131	5,030	548	5,578	△4	5,574
セグメント利益 又は損失(△)	282	△8	273	54	328	△18	309

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△18百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△46百万円、営業外収益が43百万円、営業外費用が△15百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,706	149	4,856	609	5,465	—	5,465
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	0	0	△0	—
計	4,706	149	4,856	610	5,466	△0	5,465
セグメント利益 又は損失(△)	202	△43	159	74	234	△64	169

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△64百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△77百万円、営業外収益が30百万円、営業外費用が△18百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。